

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	開所してからこれまで、地域の大きな行事への参加などはしているが、近所の方などの日常的な交流は少ない現状であった。しかし、来年度から自治会加入できることとなった。	地域の一員として、日常的に交流していくことが、地域の中で暮らし続けていくことにつながることから、自治会を含め、様々な形での地域交流を進めていく。	自治会の活動に参加したり、毎月のお便りを地区の公民館に貼らせてもらうなどの活動を行い、グループホーム笑顔を知ってもらい、気軽に来てもらえるように働きかけを行っていく。	12ヶ月
2	4	現在、運営推進会議を2ヶ月ごとに開催しているが、参加メンバーが利用者のご家族、市職員、包括職員だけであり、自治会や民生委員、婦人会などの参加が得られていない状況である。	地域の中で暮らし続けていくために、地域住民の代表などからの、様々な意見や情報交換を行いながら、相互の関わり方や協力体制を築き上げていく。	来年度からの会議への参加に向けて、関係者との連絡調整を図っていく。	12ヶ月
3	27	入居者の高齢化が進む中、ご家族の考えや思いを考慮しながら、スタッフとともに一つのチームとなり、一人一人に応じたケアを実践・見直していく体制が不十分である。	日々のケアを実践していく中で、その結果や気づき、工夫などの情報を共有するだけでなく、家族の考えや思いも考慮して実践していく。	一人一人の心身状態の変化やケアの実践を通して得た結果や気づき、家族の考えや思いをアセスメント表に記入し、全スタッフで共有した上で、日々のケアや実践・介護計画の見直しに反映させていく。	6ヶ月
4	48	毎日の生活に役割や楽しみごとなどを持つことで、心身ともに張り合いや喜びのある生活を維持していく必要がある。	一人一人の生活歴や持っている力を活かした役割や楽しみごとの支援を継続していくことで、心身ともに張り合いや喜びのある生活を維持していく。	本人やご家族の考えや思いを考慮しながら、一人一人のアセスメントを実施し、日々の生活での役割を見出し、支援するとともに、ボランティアの受け入れ、家族との行事などを定期的で開催していく。	12ヶ月
5	35	現在、年2回の火災を想定した避難訓練を実施しているが、地震や水害など様々な災害を想定した訓練の実施がなされていない。	火災以外の災害にも対応できるように、地震や水害などを想定した、初期対応や避難訓練を実施していく。	上山消防署からの指導の機会を設け、消防団との連携を図りながら、実践的な訓練を実施していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。